

## (6) 仕上げ透明液

以上の如くせるものを純xylol中に入れると透明になる。xylolは透明と同時に保存に用ひられる。

動物の透視標本は第2の水洗から直ちにglycerinに入れても良い。収縮せる場合は多少の水を加へる。漂白と脱水を上手に行へばxylolを用ひた方が透明なもの出来るが、急製にはglycerinを用ゆる方が無難である。

平尾孝平

## バツタの卵をパラフィン切片にする方法

此の方法は Science Vol. 78. No. 2025 (p. 366. 1933) に發表せられたるものである。先づ Carnoy-Lebrun の液 (クロロフォーム、氷醋酸を同量に混じりそれに昇汞を飽和したもの) に5分入れ卵の側面に針で孔をあけ猶5分の後に取り出し24時間沃度 alcohol で昇汞を抜く、卵を二つに横断して micropyle のある半分を70—80%アルコールに保存す。

切片にするには80% alcohol 100 c.c. に石炭酸4 gm の液に24時間入れ95% alcohol で脱水し、アモリン油で透明にし、クロロフォームで洗ひ、パラフィンにて imbéd する。切る際に卵がパラフィン片の一面に露出するまで削り24—48時間水に入れて置いて切る。染色には feulgen 法を用ひると核だけ染まり卵黄に色が付かない。

宮坂 收

### モデファイせる gelatin 包埋法と slide glass 貼付法 に依る副腎及他の類似脂肪体の研究に関する一方法

R. L. ZWEMER

(The Anat. Rec. Vol. 57. No. 1)

組織學的實驗研究に於て lipid (類似脂肪体) の類は、用ゆる藥品中に於ける溶解度が高いため研究に非常に困難である、その場合凍結切片法を用ひるのであるが、この法は組織中の氷の結晶が組織を破壊したり又、薄く切るに困難であつたり又硬すぎたりして非常に困難である。兼ねてより Gaskell, Nicolas, Olt, 等はこの法の改良のために gelatin embedding を用ひたが、この方法はその後のお操作が非常に面倒であつた。本文の筆者はこれを改良して次の如き system の技術を行つた。

## (1) 包埋

先づ固定せる材料を formalin 其他の固定劑より出し、これら藥劑が除去される迄4時間以上水洗しこれを35°—37° C の恒温器中の5% gelatin 中に34時間放置す。後同温の10% gelatin に12—16時間移し放置す。後 petri 皿を用ひ10% gelatin 中に包埋する。これを凍結器中に3時間入れる。

(2) 組織の gelatin block を切り10% の formalin 中に數時間入れる。gelatin を不水溶性にするためである。このまゝにて何時迄も貯藏出来る。この block は中の組織の關係を binocular 顯微鏡其他に依り見得るから便利である。

(3) 水にて block を洗ひ乾燥せる CO<sub>2</sub> gas にて一様に白く凍結させ刀にて薄く切れる迄に